

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【公開番号】特開2008-169193(P2008-169193A)

【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-112535(P2007-112535)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/4535 (2006.01)

A 6 1 K 31/5415 (2006.01)

A 6 1 K 31/40 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/381 (2006.01)

A 6 1 K 31/421 (2006.01)

A 6 1 K 31/195 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/4535

A 6 1 K 31/5415

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/421

A 6 1 K 31/195

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 31/06

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月29日(2010.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

気道の杯細胞過形成を抑制するための抗ヒスタミン剤を含有する医薬組成物。

【請求項 2】

フェニルプロピオン酸系解熱鎮痛消炎剤並びにアゼラスチン及び / 又はアゼラスチンの薬理上許容される塩を含有する医薬組成物。

【請求項 3】

気道の杯細胞過形成を抑制するための請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

気道の杯細胞過形成を抑制するためのフェニルプロピオン酸系解熱鎮痛消炎剤及び抗ヒスタミン剤を含有する医薬組成物。

【請求項 5】

さらに鎮咳及び / 又は去痰を同時に行うための請求項 1、請求項 3 又は請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

抗ヒスタミン剤が、ケトチフェン、クレマスチン、アゼラスチン、メキタジン及びそれらの薬理上許容される塩から選ばれる 1 又は 2 以上である請求項 1、請求項 4 又は請求項 5 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

抗ヒスタミン剤が、フマル酸ケトチフェン、フマル酸クレマスチン、塩酸アゼラスチン及びメキタジンから選ばれる 1 又は 2 以上である請求項 1、請求項 4 又は請求項 5 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

フェニルプロピオン酸系解熱鎮痛消炎剤が、ロキソプロフェンナトリウム、イブプロフェン、アルミノプロフェン、チアプロフェン酸、プラノプロフェン、オキサプロジン、フェノプロフェンカルシウム、ザルトプロフェン及びフルルビプロフェンからなる群より選ばれる 1 又は 2 以上である請求項 2 ~ 7 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

フェニルプロピオン酸系解熱鎮痛消炎剤が、ロキソプロフェンナトリウム又はイブプロフェンより選ばれる 1 又は 2 以上である請求項 2 ~ 7 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

感冒剤として用いるための請求項 1 ~ 9 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

急性又は慢性気管支炎の治療に用いるための請求項 1 ~ 9 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

慢性気道疾患における急性呼吸器感染時の症状の治療に用いるための請求項 1 ~ 9 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

有効成分を同一の医薬組成物中に含有する請求項 2 ~ 9 から選択されるいずれか 1 項に記載の医薬組成物の製造方法。